

新しい地方経済・生活環境創生交付金(デジタル実装型)に係る評価

1)事業の名称等			
事業の名称	事業分野	総事業費(令和7年度事業費)	事業計画期間
バスロケーションシステム導入事業	公共交通	710 千円	令和7年6月6日から令和8年3月 31 日

事業評価
当初の予定どおり事業目的を達成した。

2)事業概要
市コミュニティバス及びシャトルバスは、冬季積雪時等において運行ダイヤの遅れが発生することがあり、以前はリアルタイムのバス運行状況(バス位置情報)をバス利用者に知らせる手段がなかったため、バス利用者が待ち時間を把握できず、不便をかけていた。 令和元年度から、金沢工業大学が研究開発した、市コミュニティバス及びシャトルバスにおけるロケーションシステム「バスどこシステム」を試験運用しているが、あくまで研究用のシステムであることから、実運用上では課題があるうえ、令和 7 年度末に研究が終了する見込みであることから、民間事業者によるバスロケーションシステムを新たに導入し、バス利用者がリアルタイムのバス位置情報をインターネット上でいつでも確認できる環境を構築する。

3)具体的な使途と実施体制 ※経費内訳は R7年度事業費	
●具体的な使途(経費内訳) 1) バスロケーションシステム構築 ・システム初期構築費、GPS 車載器 委託費:396 千円 委託先:VISH(株) 2) バスロケーションシステム運用 ・システム利用料、通信料(令和 8 年1月～3月) 委託費:99 千円 委託先:VISH(株) 3) 車両へのシガーソケット取付 ・シガーソケット取付作業費 委託費:215 千円 委託先:日野自動車(株)	●実施体制

4)対象事業の重要業績評価指標(KPI)と実績値 [達成率=R7 実績値÷R7 目標値×100]						
KPI①	バスロケーションシステムの年間利用回数(アクセス数)					
	事業開始前 ⇒ 令和9年度	R7目標値	R8目標値	R9目標値	R7実績値	R7達成率
	19,200 回	3,600 回	16,800 回	19,200 回	27,899	775%
KPI②	コミュニティバス及びシャトルバス利用者数					
	事業開始前 ⇒ 令和9年度	R7目標値	R8目標値	R9目標値	R7実績値	R7達成率
	222,000 人	214,000 人	218,000 人	222,000 人	227,332	106%
KPI③	バスロケーションシステム利用者満足度					
	事業開始前 ⇒ 令和9年度	R7目標値	R8目標値	R9目標値	R7実績値	R7達成率
	3.5	3.0	3.2	3.5	4.16	139%
KPI④						
	事業開始前 ⇒ 令和9年度	R7目標値	R8目標値	R9目標値	R7実績値	R7達成率
事業の効果						
☒ バス利用者の利便性向上に非常に効果的であった	☐ バス利用者の利便性向上に相当程度効果があった	☐ バス利用者の利便性向上に効果があった	☐ バス利用者の利便性向上に効果がなかった			

5)達成状況の分析と課題等の把握、評価を踏まえた今後の方針	
☐ 追加等更に発展させる	(理 由) 「民間事業者によるバスロケーションシステムを新たに導入し、安定したシステムを高い稼働率で運用することで、予備車を含めたりリアルタイムのバス運行状況(バス位置情報)をバス利用者がいつでもインターネット上で確認できる環境を整備し、バス利用者の利便性をさらに向上させる。」という当初の事業目的を達成した。 今後もバスロケーションシステムの周知・広報を実施し、システムを地域に普及・定着させるための取り組みを継続していく。 また、Web アンケートを通じて利用者から寄せられた改善要望をシステム導入事業者と共有のうえ対応協議し、利用者のさらなる満足度向上を図る。
☐ 事業内容の見直し(改善)	
☒ 事業の継続	
☐ 事業の継続の中止	
☐ 予定通り事業を終了	